



東京2020大会ラボラトリーにおける 警備業務等の発注について

大会運営局 医療サービス部
アンチ・ドーピング課

2019年 6月 28日

審議事項

東京2020大会ラボラトリーにおける大会時に向けたセキュリティの確保のため、以下の警備業務等について発注する。

WADAの要件に基づくセキュリティ対策は、正確かつ迅速な検体分析に寄与するのみならず、クリーンな競技者の保護、競技や大会全体の信頼性確保に直結するもの。

- ① 機械・常駐警備
- ② セキュリティカメラシステム
- ③ 生体認証による入退管理システム

東京2020大会ラボラトリー

◇運営概要・組織委は、既存ラボを運営する株式会社LSIMへ大会ラボの運営を委託

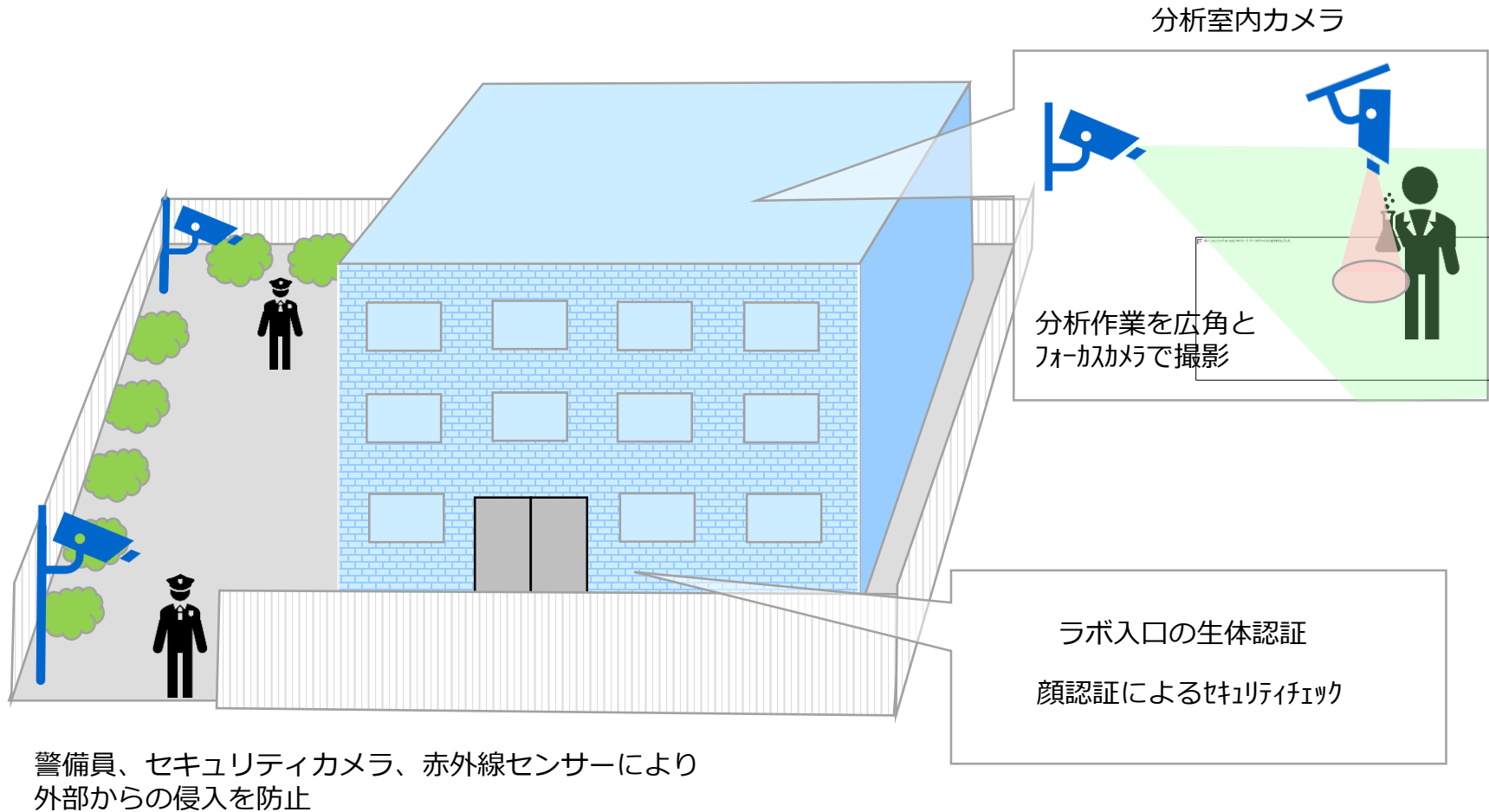
- ・ 1日最大約400検体を24時間稼働、3交代制で分析予定

◇準備状況・2017年10月・・・LSIMとのラボ運営業務委託契約締結

- ・ 2018年 6月～12月・建物内装改修工事

- ・ 2019年 1月・・・第1回分析機器搬入完了

セキュリティ対策イメージ



セキュリティ対策の概要

項目	概要
機械・常駐警備	出入管理、外部侵入防止のため敷地内・建物内に警備員を配置し、警備機器を設置する
セキュリティカメラ	防犯、適正な分析手続記録等のため、敷地内・建物内にセキュリティカメラを設置する
生体認証システム	入退時のなりすまし防止等セキュリティ対策として、生体認証（顔認証）を用いた入退管理システムを構築する

発注予定案件

項目		発注先	契約方式	機器調達	契約予定期間
①機械警備 ②常駐警備		セコム(株)	特別契約	①レンタル ② -	2020年1月 ～12月
セキュリティ カメラ		パナソニックシステム ソリューションズ ジャパン(株)	特別契約	購入 (売却予定)	2019年7月 ～2020年12月
生体認証 システム	導入施工 ・保守	日本電気(株)	特別契約	-	2019年7月 ～2020年10月
	機器	未定	①競争入札 もしくは ②特別契約	①リース もしくは ②購入	2019年11月 ～2020年10月

(参考) 非接触型生体認証システムの比較表

項目	顔認証	指静脈認証	虹彩認証	指紋認証 (接触型)
評価	セキュリティ重視。 衛生問題が発生しにくい。 認証時間 約0.2秒。	指が一部接触した場合、衛生問題発生 のリスクあり。 認証装置が高額。 認証時間 2秒以上。	セキュリティ重視。 衛生問題が発生し にくい。 認証装置が最も高額。 認証時間 2秒以上。	過去大会で衛生面で 問題が発生したため、 接触型指紋認証では WADA認証が得られ ない。